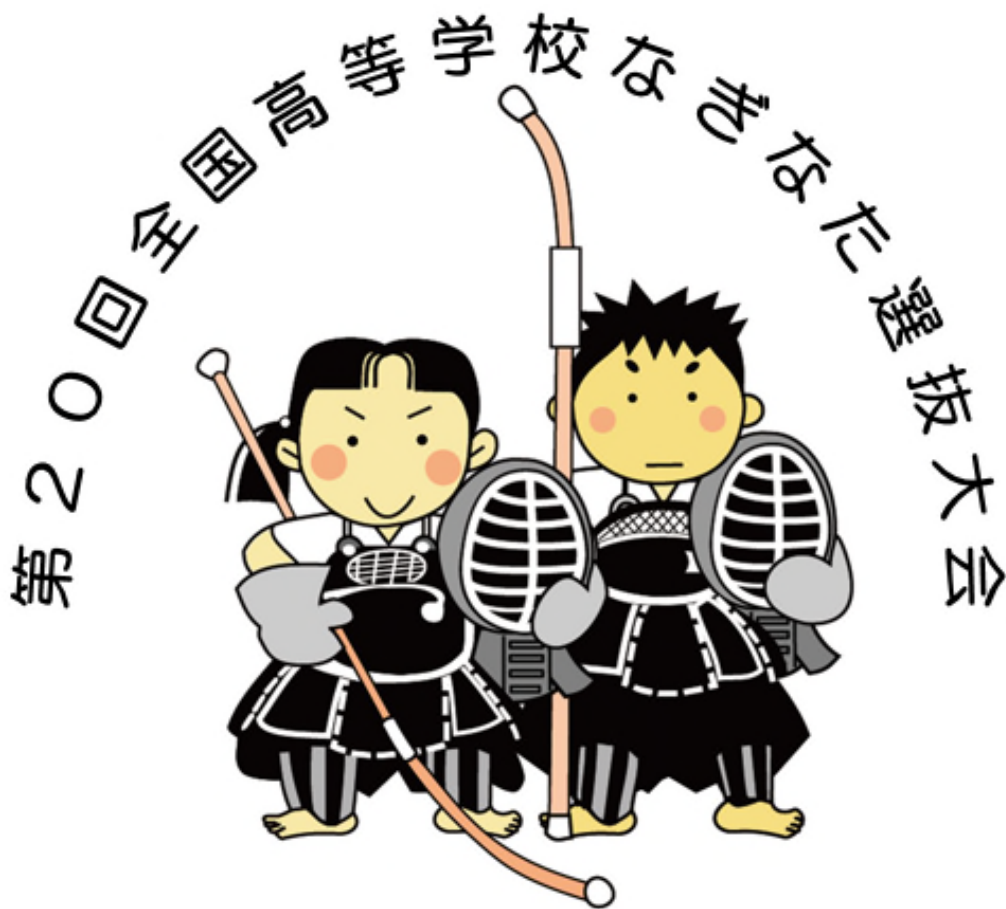


令和6年度
第20回全国高等学校なぎなた選抜大会

監督必携



伊 丹 市
伊 丹 市 教 育 委 員 会
全 国 高 等 学 校 な ぎ な た 選 抜 大 会 実 行 委 員 会
(公 財) 全 日 本 な ぎ な た 連 盟
(公 財) 全 国 高 等 学 校 体 育 連 盟 な ぎ な た 専 門 部

伊丹市立伊丹スポーツセンター
令和7年3月22日(土) 23日(日)

目 次

諸会議及び競技日程	1
(公財)全国高体連なぎなた専門部申し合わせ事項	2～5
競技規程及び試合上における注意 (団体試合) (個人試合)	6
試合入場図及び選手待機図(会場内)	7
試合入場図及び選手待機図(ロビー)	8
監督の任務	9～10
諸連絡	11
大会実施にかかる留意事項について	12
式典時の注意	13
開・閉会式 入退場図	14
練習会場割当表	15
練習(アップ)会場マップ	16
医療救護について	17
競技会場(屋内・屋外)配置図	18～20
選手控室A・B 席次表	21
代表者会議 式次第	22
代表者会議 席次表	23

諸会議及び競技日程表

■諸会議

期日	時間	内容	会場 (伊丹市立伊丹スポーツセンター)
3月21日 (金)	11:00～12:00	常任委員会	クラブハウス
	13:30～14:30	代表者会議	卓球場
	15:00～17:00	競技役員会	競技フロア
	15:30～	審判会議	剣道場（審判控室）
	16:00～17:00	審判研修会	競技フロア

■競技日程

期日	時間	内容（種目）
3月22日 (土)	9:00～	開会式（公開演技含む）
	9:50～13:30	団体試合 1回戦・2回戦
	13:40～14:50	男子個人試合 1回戦・2回戦
	14:55～17:25	女子個人試合 1回戦・2回戦
3月23日 (日)	9:00～11:10	女子個人試合 3回戦～決勝戦
	11:15～12:20	男子個人試合 3回戦～決勝戦
	12:30～14:10	団体試合 3回戦～決勝戦
	14:30～	閉会式

【競技予定時間】

3月22日（土）

時間	内容（種目）	第1コート	第2コート
9:50～12:02	団体試合 1回戦	1～12	1～12
12:02～13:30	2回戦	13～20	13～20
13:40～13:48	男子個人 1回戦	1	1～2
13:48～14:52	2回戦	2～17	3～18
14:57～15:17	女子個人 1回戦	1～5	1～5
15:17～17:25	2回戦	6～37	6～37

3月23日（日）

時間	内容（種目）	第1コート	第2コート
9:00～10:04	女子個人 3回戦	38～53	38～53
10:04～10:36	4回戦	54～61	54～61
10:36～10:52	5回戦	62～65	62～65
10:52～11:00	準々決勝	66～67	66～67
11:00～11:04	準決勝	68	68
11:05～	決勝	69	
11:15～11:47	男子個人 3回戦	18～25	19～26
11:47～12:03	4回戦	26～29	27～30
12:03～12:11	準々決勝	30～31	31～32
12:11～12:15	準決勝	32	33
12:16～	決勝	33	
12:30～13:14	団体試合 3回戦	21～24	21～24
13:14～13:36	準々決勝	25～26	25～26
13:41～13:52	準決勝	27	27
13:57～	決勝	28	

(公財)全国高等学校体育連盟なぎなた専門部 申し合わせ事項

(公財)全日本なぎなた連盟競技規定、並びに審判規定に準じる。

下記の事項は、公式試合における(公財)全国高体連なぎなた専門部としての統一的な事項である。
特に全国大会においては、これを厳守すること。但し、競技方法・種目は、各大会の実施要項を基とする。

1 選手・監督心得

- 1) 選手は気品のある態度で全力をあげて試合をする。
- 2) 監督は競技だけでなく、選手のマナー等の指導をする。

2 引率責任者、監督の資格・服装

- 1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率の委嘱をされた「部活動指導員」(学校教育法施行規則第 78 条の2に示された者)も可とする。但し、当該都道府県高体連会長に事前に届け出ること。
- 2) 監督は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入していることを条件とする。
但し、各都道府県における規定があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。
- 3) 監督の服装は、各都道府県ユニホームまたは監督にふさわしい服装とする。

3 大会運営

[1]運営上の確認

- 1) コート審判主任は、コート運営主任を兼ねることができる。
- 2) なぎなたは正規のものを使用する。切先は(切先の弦)に透明テープを巻き千段巻きには白色のビニールテープを巻く。長さは 210～225cm とする。
- 3) 選手の服装は稽古着・袴とする。
- 4) 紅白のたすきは各校で準備をする。
- 5) 貴重品の保管には十分留意する。
- 6) 試合場に入れるのは、監督・選手のみとする。
- 7) コートは 11～12m 四方とする。

[2]審判及び審判員

- 1) 審判員の服装は、(公財)全国高体連なぎなた専門部の指定したものとする。
- 2) 審判員の審判旗(5～6組)の受渡しについては、通常通り行う。
- 3) コート審判主任は、審判旗を競技終了までコートにて管理する。第1試合審判員へ手渡した後に次の試合の審判員にも手渡す。
- 4) 個人試合の場合は、前の試合終了とともに次の審判員は進み出て、前審判員の礼と同時に礼を行う。前審判員が退場後、通常通り試合を進行する。各自、審判旗の管理には気をつける。
- 5) 旗のばらつきが生じた場合は必ず主審が「止め」をかけたのち確認を行う。
但し、運用には気をつける。
- 6) 団体試合終了の「お互いに礼」の前に勝負の結果を主審が宣告する。
(勝者の学校名を指し示し、「〇〇高校の勝ち」と呼称する)
- 7) 気剣体一致をもとに、物打ちと部位については、許容範囲がある。
- 8) しごき打ち防止のために、選手の身体の幅より手幅が狭くなっていないか注意する。

[3]団体試合

- 1) 7人エントリー制の5人による団体試合は、申込み時に最低4名の選手が記入されていなければ、参加できない。
- 2) 5人エントリー制の3人による団体試合は、申込み時に最低3名の選手が記入されていなければ、参加できない。
- 3) オーダー用紙は、1試合前に提出し、オーダー用紙に記入された順序によって各個人の試合を行い、団体の勝敗を決める。
 - ① 監督は、整列時及び試合時とも必ずオーダー表[複写分]を確認し、選手を入場させる。
 - ② 先に提出したオーダー表と違う選手がコート内に入った場合、コートに入った時点で失格となり、相手に2本を与える。また、失格となった選手はその団体試合には出場できない。
 - ③ 1度提出したオーダーの変更は認められない。
 - ④ 代表者戦はその試合にオーダーした選手の中から選出する。
 - ⑤ 代表者戦に出場した選手が、代表者戦終了後に整列する時は大将の位置に整列し、他の4名(または2名)は、先鋒から副将(先鋒、中堅)の位置に詰めて整列して入場、礼を行う。
- 4) 試合時間は3分とし、延長なし、引き分けをとる。
- 5) 試合は3本勝負とし、試合時間内に2本先取した者を勝ちとする。但し、試合時間以内に所定の本数に達しない時は、1本先取した者を勝ちとする。
- 6) 勝数・勝者数・取得本数が同数の場合は代表者による1本勝負、試合時間は3分、延長2分1回、判定で勝敗を決定する。
- 7) 予選リーグは、順位を以下の順に決める。
 - ① 勝数による
 - ② 勝者数による
 - ③ 取得本数による
 - ④ 勝数・勝者数・取得本数が同数の場合は、負数・負者数・失本数で決定し、それも同数の場合は、当該校間の試合結果で順位を決める。
 - ⑤ ①～④で順位が決まらない場合は、三つ巴戦で順位を決める。
 - ⑥ 三つ巴戦は、代表者によるリーグ試合で行う。試合は原則として次のブロック前に行う。
その際、1本勝負、試合時間は3分延長2分1回、判定で勝敗を決定する。
- 8) 決勝戦の代表者戦は勝負が決するまで延長戦を行う。(延長は2分で区切り、勝負が決するまで繰り返す。但し、試合が長時間となった場合、選手の状況を見て、審判が適宜休憩をいれることができる。)また、競技日程によっては、延長2分1回、判定で勝敗を決定することもできる。

[4]個人試合

- 1) 試合は3本勝負とし、試合時間以内に2本先取した者を勝ちとする。但し、試合時間内に所定の本数に達しない時は、1本先取している者の勝ちとする。
- 2) 試合時間は3分とし、勝敗が決しないときは、延長2分1回、判定で決定する。
- 3) 予選リーグは、順位を以下の順に決める。
 - ① 勝数による。
 - ② 取得本数による。
 - ③ 勝数・取得本数が同数の場合は、負数・失本数で決定し、それも同数の場合は、当該選手間の試合結果で順位を決める。
 - ④ ①～③で順位が決まらない場合は、三つ巴戦で順位を決める。
 - ⑤ 三つ巴戦は、リーグ試合を行う。原則として、試合は次のブロック前に行う。
その際、1本勝負、試合時間は3分延長2分1回、判定で勝敗を決定する。
- 4) 決勝戦は勝負が決するまで延長戦を行う。(延長は2分で区切り、勝負が決するまで繰り返す。但し、試合が長時間となった場合、選手の状況を見て、審判が適宜休憩をいれることができる。)また、競技日程によっては、延長2分1回、判定で勝敗を決定することもできる。

[5]試合競技に関わる事項【防具はずれ・破損等】

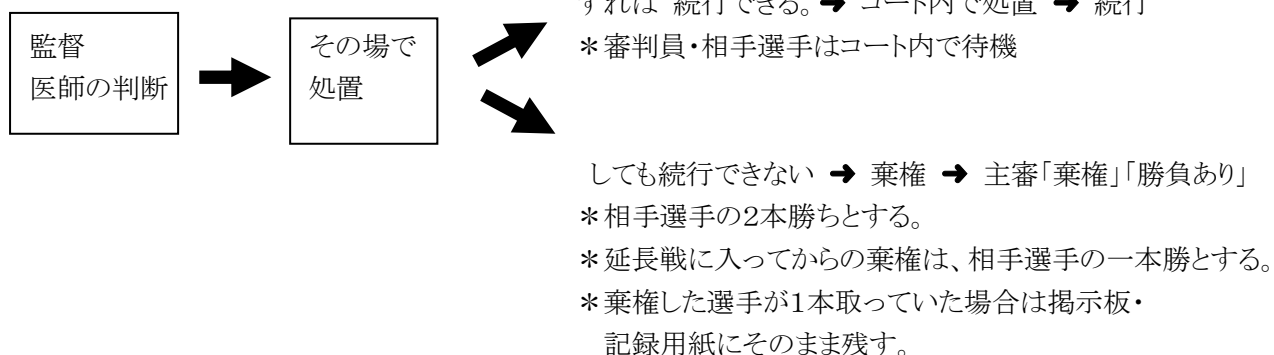
- 1) 試合中の選手に防具はずれ等が起こった場合、開始線で礼をし、着座して、防具を着け直す。
但し、スネ当てが破損して、応急処置を黒色のビニールテープ等で行う場合は、開始線での礼、着座、小手を外したのち、コート際まで移動する。監督からテープ等を受け取り、その場でスネ当てを応急処置する。その後、監督にテープを返却して戻り、試合を再開する。
- 2) 試合中、なぎなたが破損した(折れなど)場合、破損した一部がコート内にある場合は、すべて拾い、礼をしてから、なぎなたをコート際で交換する。破損したなぎなたの一部がコート外にある場合は、残存のなぎなたで礼をしてからなぎなたを交換する。

[6]演 技

- 1) 1試合2組の演技者により、3本の規定本数を行う。
- 2) 5名の審判員により旗形式にて勝敗を決定する。
- 3) 予選リーグの場合は、順位を以下の順に決める。
 - ① チームの勝数による。
 - ② 勝本数による。
 - ③ 勝数・取得本数が同数の場合は負数・失本数、それも同じ場合は当該チームの試合結果で順位を決める。
 - ④ ①～③で順位が決まらない場合は、三つ巴戦で順位を決める。
 - ⑤ 三つ巴戦は、リーグ試合を行う。原則として、試合は次のブロック前に行う。

4 事故の処理

- 1) 試合中に選手が負傷した場合は、医師の判断により、試合継続の可否を決定する。但し、医師不在の場合は監督の意見を聞いた上、コート審判主任と当該試合の審判員が試合継続の可否を審判長の了解を得て、決定する。
- 2) 試合中に負傷が生じた場合の流れ



- 3) 流血や嘔吐などがあつた場合、床についた血痕・嘔吐物等は、感染症予防から必ず手袋をした担当委員が雑巾等により拭き取るようにする。

5 選手の棄権・欠場について

- 1) 諸々の理由により競技に遅れた場合、前の試合の宣告が発せられた時点で、会場内の待機席に準備ができた状態で待機していなかった場合は棄権とし、相手の不戦勝とする。
- 2) 棄権した選手は、棄権した日のすべての競技に参加できない。但し、棄権した翌日以降、競技への参加が可能であると監督が判断した場合は、参加を認める。
- 3) エントリーした選手に対しては、欠場、棄権があつた場合において不戦勝の宣告を行い、記録を残すことを原則とする。

〔不戦勝の宣告の仕方〕

- 1) 団体試合の出場校が欠場した場合、相手校の選手はオーダー通りに開始線に整列し、主審の指示のもと礼を行う。主審が「〇〇高校の勝ち」と勝敗の宣告を行い、主審の指示のもと礼を行いコートから退場する。「不戦勝」を標示し、全選手に2本を与える。
個人試合、団体試合は、出場者のみ名前を呼び出し、選手は開始線まで進み、礼をして中段に構える。主審が「不戦勝」と宣告を行った後、選手は自然体に戻り、礼をしてコートから退場する。不戦勝の選手には、「不戦勝」を標示し2本を与える。
- 2) 演技については、出場組のみしかけの名前を呼び出し、「入場」の合図で選手は開始線まで進み、主審の笛の合図で、正面に礼をする。その後、お互いに退場する方向に向き、主審は、選手が2～3歩進んだ時点で、笛を鳴らし、審判員5人は出場組の旗を挙げる。出場組はそのまま退場をする。不戦勝のチームに5本を与える。

6 不測の事態が生じた場合

競技継続が不可能な不測の事態が発生した場合、大会委員長、総務委員長、競技委員長、審判長の判断により、競技中断の宣告を審判長がマイクで行う。それを受け、主審は速やかに「ヤメ」をかけ、試合時間を止める。

選手、審判員、競技役員は、防御姿勢を取りながら、安全な場所に避難する。その際、コートから出ても構わない。競技再開が可能と判断した場合は、大会委員長、総務委員長、競技委員長、審判長の指示により、試合を中断した時点から開始する。演技の場合は、中断した試合の始めから、呼び出し、入場より開始する。

また、会場内が危険と判断し、会場から避難する際は、係員の指示に従って落ち着いて行動する。監督、引率者は選手、生徒の安全を確保する。なお、その時点で大会の中止を判断する場合がある。

以上

【2023 年 6 月 30 日承認】

競技規定及び試合上における注意 (団体試合)

1. 競技規定

(公財) 全日本なぎなた連盟の「競技規定・審判規定」及び「全国高体連なぎなた専門部申し合わせ事項」による。

2. 試合上における注意

- (1) 監督・選手はプラカードと予備のなぎなたを持ち、当該コート選手主任の指示で場内に入る。(誘導はしない)
- (2) オーダー用紙は選手集合所で記入し、各コート(腕章をつけた)選手委員に提出する。コート選手委員は、1枚目を監督に控えとして渡し、残りの2枚は記録・掲示委員に渡す。
- (3) 最初は2試合目までの赤・白各2チーム計4チーム(1コートあたり)及び監督が入場し、入場後は直ちに選手待機席に着く。以降は赤・白各1チーム計2チームずつ順次入場し着席する。(誘導はしない)
- (4) 第1試合の各チームは、コート線(横)の外側に先鋒のみなぎなたを持ち、正面より大将・中堅・先鋒順に整列し、審判員と同時にコート内開始線まで進み、相対になり主審の指示を待つ。
- (5) 選手の呼び出しに対して先鋒は、開始線で左手をあげて返事をする。中堅・大将はコート線の外側の所定の位置で左手をあげて返事をし、開始線まで進む。
この時先に提出したオーダー表と違う選手がコート内に入った場合、コートに入った時点で失格となり、相手に2本を与える。またその当該選手は、その団体試合においては失格となり出場出来ない。
- (6) 次の試合チームは、前の試合が終了したら、前列選手待機席に移動する。
- (7) 第2試合以降のチームは、前の試合が終了後、次の試合の審判員と同時にコート内に入り、相対になり主審の指示を待つ。
- (8) 試合中になぎなたの交換等が行われる場合、相手選手は主審の指示により、立って(自然体に復し)待つ。
- (9) 試合終了後は、プラカードを持ち、選手委員の指示に従い退場する。
- (10) 選手席での待機(会場内)は、当該チームと次の試合チームのみとする。【別紙図を参照】
- (11) 選手の集合(場外集合所)は、3試合後の赤・白各2チーム計4チーム(1コートあたり)とし、点呼を受けた後、順次1試合ごとに会場内へ入場する。以下順次試合順序に従い、集合・待機する。
- (12) 決勝戦は第1コートで実施する。
- (13) 代表者戦届出用紙は、選手席の下に置く。

(個人試合)

1. 競技規定

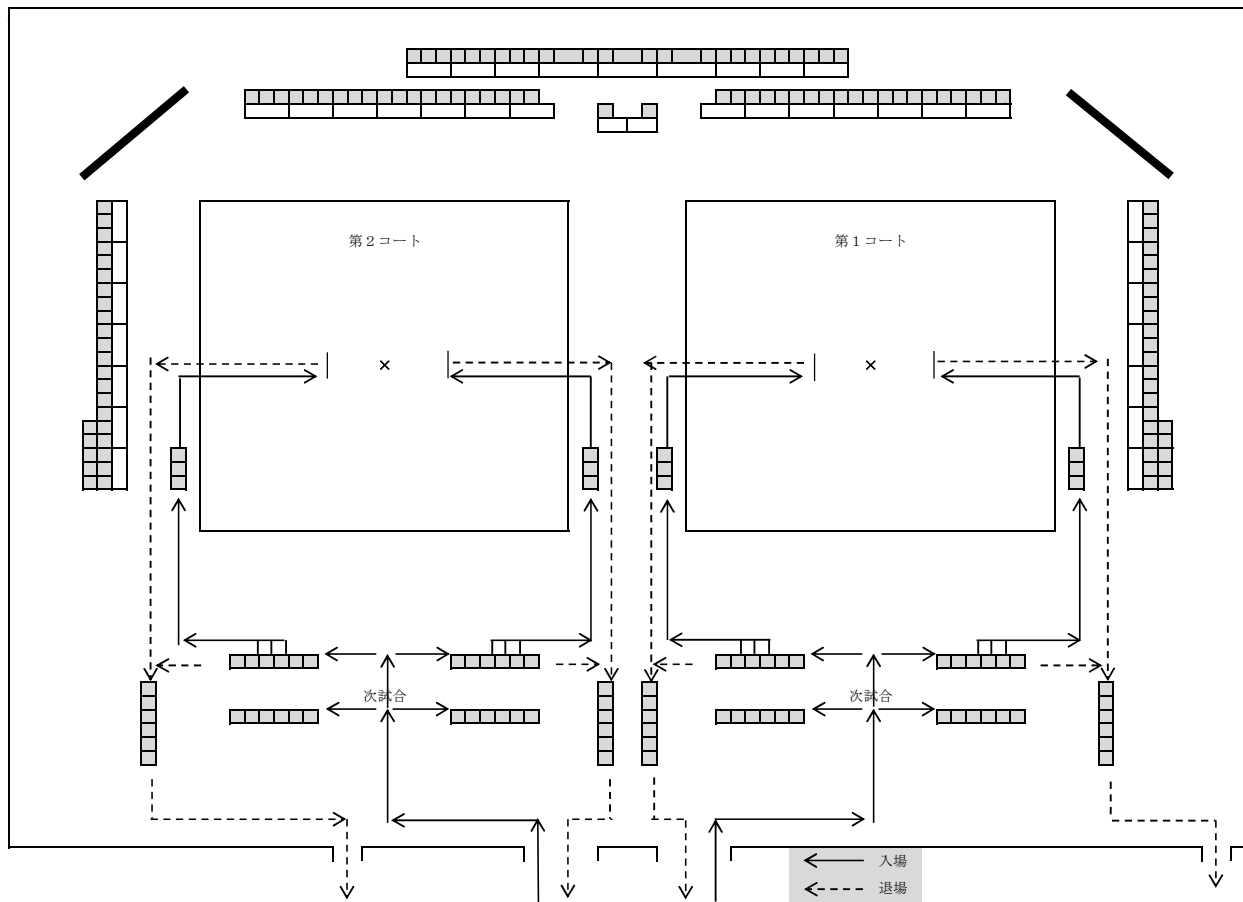
(公財) 全日本なぎなた連盟の「競技規定・審判規定」及び「全国高体連なぎなた専門部申し合わせ事項」による。

2. 試合上における注意

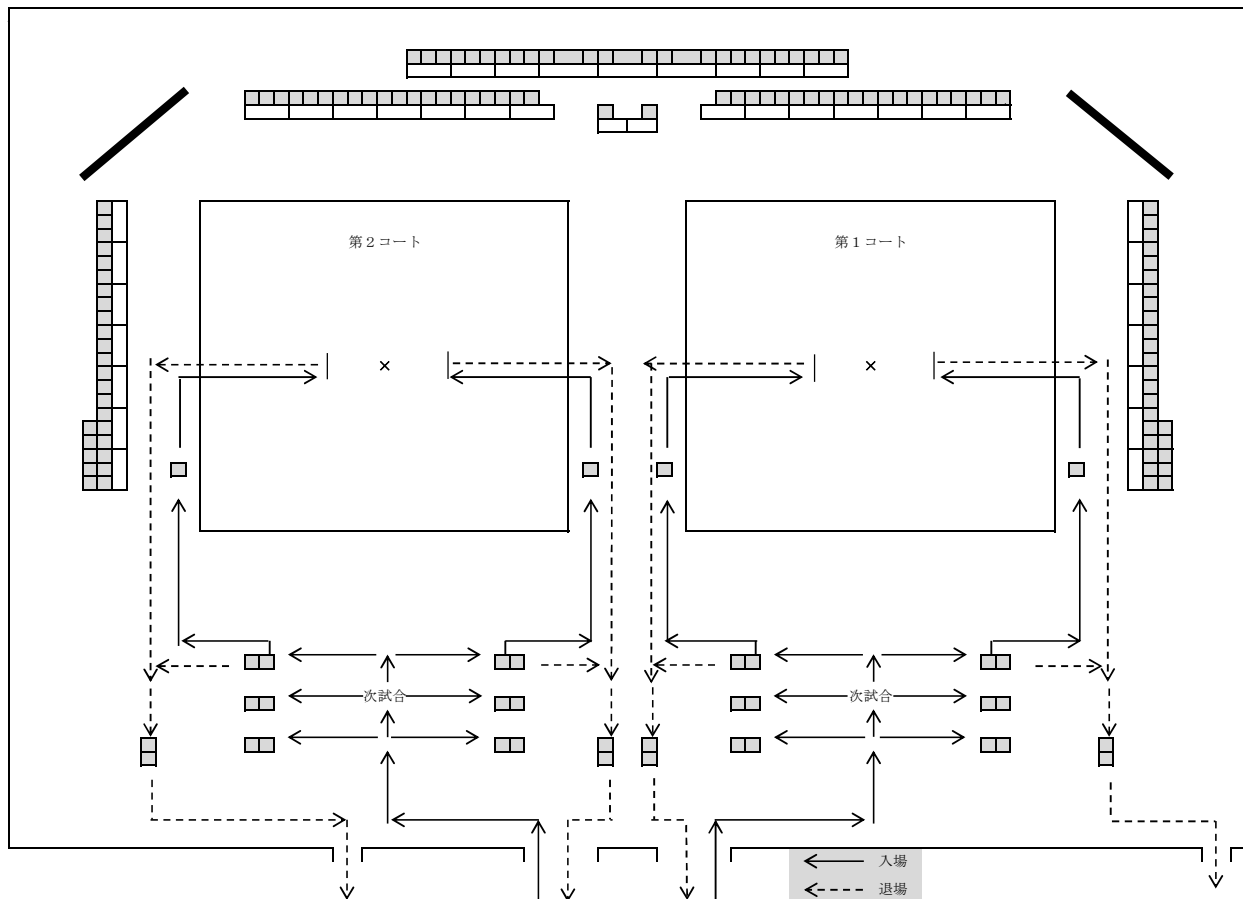
- (1) 監督・選手はプラカードと予備のなぎなたを持ち、当該コート選手主任の指示で場内に入る。次の試合出場選手は、前の試合の開始を確認し、試合順に従い順次選手待機席に着く。(誘導はしない)
- (2) 最初は3試合目までの赤・白各3選手計6選手(1コートあたり)及び監督が入場し、入場後は直ちに選手待機席に着く。以降は赤・白各1選手計2選手ずつ順次入場し着席する。(誘導はしない)
- (3) 第1試合の各選手は、コート線(横)の外側になぎなたを持って立ち、選手の呼び出しを待つ。
- (4) 選手の呼び出しに対して、左手をあげて返事をし、開始線まで進む。
- (5) 第2試合以降の選手は、前の試合が終了と同時に、速やかにコート線外側の所定の位置に進む。呼び出しに対して左手をあげて返事をし、コートに入り開始線まで進む。
- (6) 次の試合の監督は、前の試合が終了したら、前列選手待機席に移動し着席する。
- (7) 試合中になぎなたの交換等が行われる場合、相手選手は主審の指示により、立って(自然体に復し)待つ。
- (8) 試合終了後は、プラカードを持ち、選手委員の指示に従い退場する。(進行状況により会場内に待機する場合もある)
- (9) 選手席での待機(会場内)は、当該選手・監督と2試合目以降の赤・白各3選手計6選手及び監督とする。【別紙図を参照】
- (10) 選手の集合(場外集合所)は、4試合後赤・白各3選手計6名及び各監督(1コートあたり)とし、点呼を受けた後、順次1試合ごとに会場内へ入場する。以下順次試合順序に従い、集合・待機する。
- (11) 決勝戦は第1コートで実施する。
- (12) 棄権や欠場による不戦勝の場合も宣告を行う。

試合入場図及び選手待機図（会場内）

団体試合

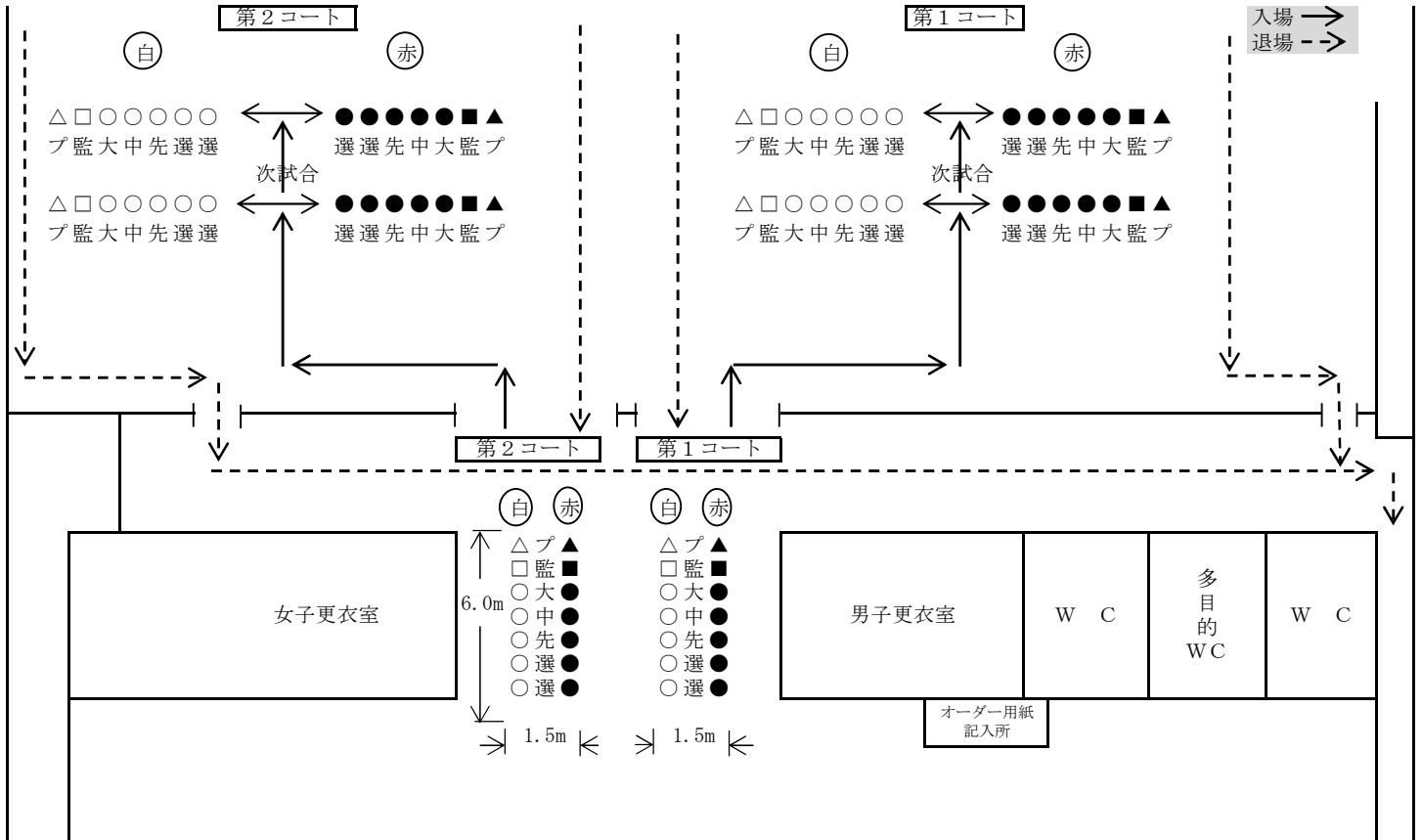


個人試合

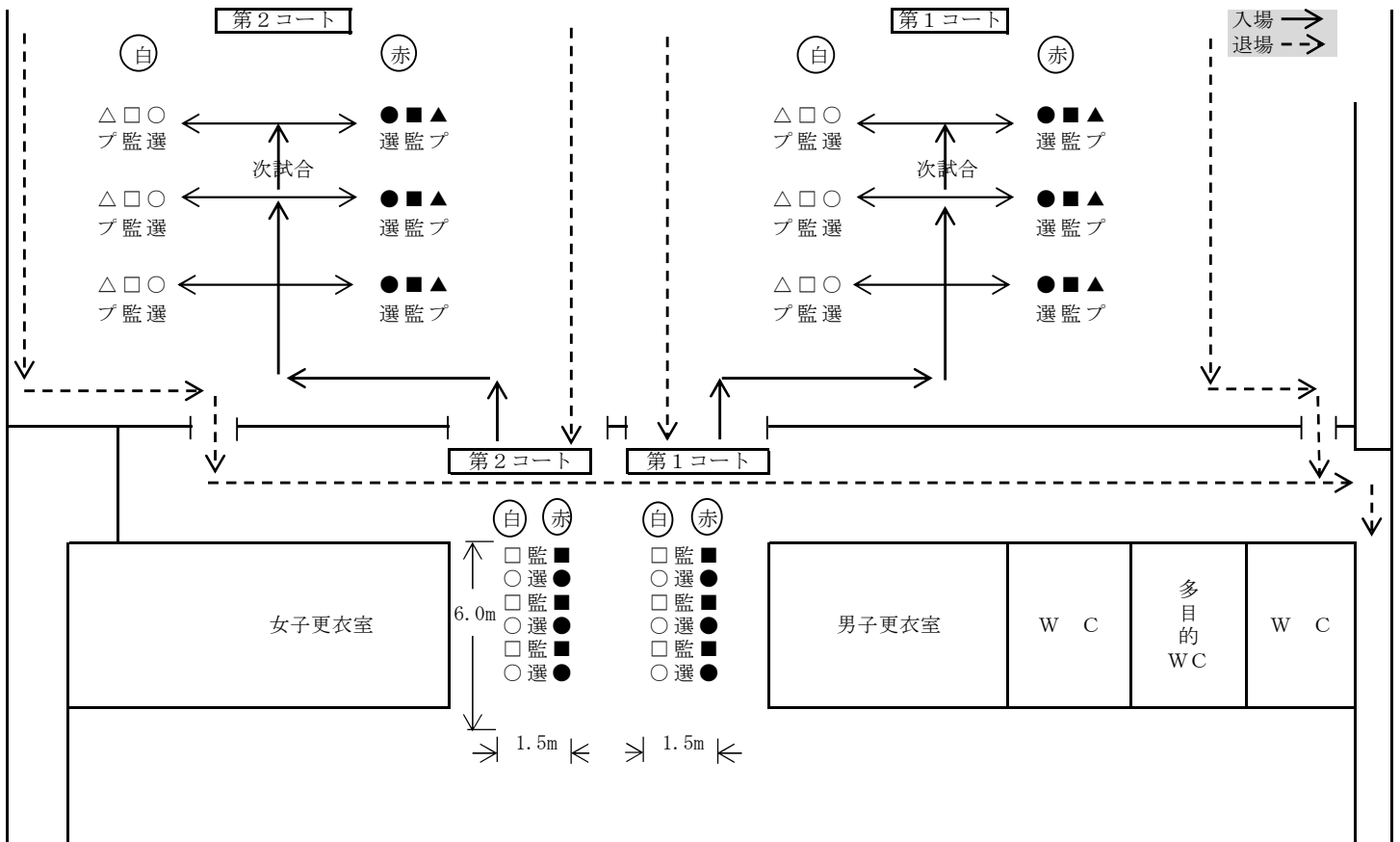


試合入場図及び選手待機図（ロビー）

団体試合



個人試合



監督の任務

●受付について

- ①1日目は全出場校、2日目は試合出場校のみ、両日とも8時40分までに必ず行うこと。
- ②会場および選手控室への入場可能時間は8時10分。

●開閉会式について

- ①開閉会式における監督は観覧席で参加する。
- ②開会式は30分前に選手を選手控室A・Bの自席に待機させる。
- ③各校の先頭となる選手がプラカードを持ち、選手委員の呼び出しに従い競技フロアに移動、整列する。その際、靴は履かない。(会場内のグリーンシートを歩くこと)
- ④閉会式は競技終了後に入賞校・入賞者のみプラカードを持ち競技フロア後方に集合させる。

●競技中の選手集合、整列、誘導について

- ①団体試合3試合前(30分前)、個人試合6試合前(25分前)に、選手招集場所(ロビー)にプラカードを持って集合させる。
- ②開会式終了後、団体試合の第1試合・第2試合に出場するチームは、選手招集場所(ロビー)に直行し、直ちに準備をして集合する。
※第1試合・第2試合に出場するチームは、なぎなた・防具をチームごとに女子更衣室(1F)に置くことができる。
- ③競技開始時は、会場内の選手待機所へ選手と一緒に着席する。
- ④選手の勝敗とたすきの確認、防具の点検等を行うこと。
- ⑤勝者チームの監督は、選手招集場所(ロビー)に選手を待機させること。
- ⑥試合中になぎなたが破損した場合は、すばやく代わりのなぎなたを選手に渡すこと。(選手はコート内でなぎなたの受け渡しをする。)監督は試合中になぎなたが破損した場合を考え、予備のなぎなたを持って入場する。
※万一、競技場に持ち込んだなぎなたがすべて破損した場合は、コート選手主任に代わりのなぎなたの貸与を要請する。要請を受けたコート選手主任は、準備していたなぎなたを速やかに監督に渡す。

●オーダー用紙の提出について

- ①団体試合1、2試合目に出場するチームは、オーダー用紙を開会式の開始前に該当コート選手主任に提出すること。3試合目からは1試合前までに提出すること。
- ②整列時及び試合時ともにオーダー用紙(監督控え)を確認し、選手を入場させる。(先に提出したオーダー用紙と違う選手がコートに入った場合、コートに入った時点で失格となり、相手に2本与える。また、失格となった選手はその団体試合には出場できないので、選手のコートへの入場には特に注意すること。)

●練習(アップ)会場について

- ①【練習(アップ)会場割当表】に基づいて所定の時間・場所で練習(ウォーミングアップ)をさせる。 ※練習会場割当表と地図を参照のこと。

②練習(アップ)会場では、IDの提示を受付ですること。会場は、受付係の指示に従って使用すること。

(21日(金)に関しては、練習(アップ)会場受付で学校名を伝えること。)

③怪我・盗難・移動の際の事故には十分注意すること。

④練習(アップ)会場に防具や荷物の留め置きはできない。

⑤水分や救急箱などは、各校で準備すること。

⑥C(鴻池小学校)・D(伊丹特別支援学校)会場は、児童の下校時間と重なるため、13時15分より早い時間の入場はしないこと。

⑦練習(アップ)会場へは、各自で移動すること。

・A(緑ヶ丘体育館)、B(スワンホール)へは、公共交通機関を利用すること。

・C(鴻池小学校)、D(伊丹特別支援学校)へは、徒歩移動とすること。

※学校施設には、車の乗り入れはできない。

⑧練習(アップ)会場では、試合状況の確認はできないため、時間に余裕をもって移動すること。

●選手控室について

①選手控室A・B(卓球場・柔道場)を2カ所に分けて設置。

各都道府県、ブロック代表毎に場所を指定している。

②防具等を控室に置く場合は、整頓して置き、通路をふさがない。

③貴重品の管理を徹底するよう注意する。

④21日(金)は、代表者会議終了後から使用可とする。

※21日は、トイレ横の内階段から選手控室A・Bに行くこと。観覧席の階段は使用しない。

●昼食について

①弁当の引き換えは11時～13時(予定)、引き換え場所はクラブハウス1階とする。

※出場校毎に一括して引き換えること。

②大会期間中は、競技時間確保のため昼食時間の設定はしていない。

③昼食は13時までにとること。

④弁当の空き箱は14時までにクラブハウス1Fへ持って行くこと。

業者による回収のため時間厳守すること。また、館内の分別ゴミ箱には捨てないこと。

⑤その他のゴミは、それぞれ分別ゴミ箱に入れること。

●代表者会議について

①3月21日(金)13時30分～14時30分 3階卓球場にて行う。

②代表者会議の受付は、13時～ 3階卓球場内で行う。

※受付時間前に来場しても、待機場所等はない。

③監督必携は、本大会HPよりダウンロードし各学校で印刷して代表者会議に持参する。

●その他

①監督の服装は、大会にふさわしい服装であること。

②会場内に設置された救護室また、避難経路について事前に確認しておくこと。

③救護室を利用する場合は、チームのメディカルバックを持参すること。

④選手の健康・安全の管理について十分配慮すること。

⑤問い合わせ、連絡事項については、実施本部(1階多目的室)に連絡すること。

諸 連 絡

●大会掲示物の作成について

大会掲示物は大会要項にあるように、参加者が作成して代表者会議に持参してください。
作成手順は、大会ホームページ「第20回大会関係書」内の『05掲示物作成案内』を参照ください。

●欠場者連絡について

代表者会議以降に欠場があった場合は、大会会場(体育館)入口に掲示している競技別トーナメント表に記載します。随時、確認ください。

●IDカードについて

21日(金)代表者会議時に、学校毎に記念品と一緒に置いています。
大会会場内ならびに、練習会場では、提示をお願いします。
また、選手控室は、選手及び監督・引率・練習相手のIDを持つ者に利用を限っています。選手以外(応援部員・保護者等)は、観覧席のみの利用とし、3階フロアには立ち入らないよう周知願います。

●参加費領収書について

代表者会議時の配付物の中に同封しています。
不備があれば申し出てください。

●宿泊について

宿泊・送迎バス・弁当の問い合わせは京王観光へお願いします。

●会場―宿舎の移動について

・各学校で車や公共交通機関等をご利用ください。
・宿泊申込時に、バスの申込をした学校は、事前に旅行会社から通知のあった【オプションル﴿発着スケジュール﴾】を確認し、利用してください。なお出発時間は厳守してください。

●宅急便について

防具等の宅配を希望する場合は、下記の日程で会場前広場に臨時宅配所を設置します。

3月22日(土)12時～17時

23日(日)12時～15時30分

※「なぎなた」を発送する際は、千段巻きを外して預けてください。

●プラカードについて

各学校で準備してください。(規格等は大会HPを参照してください。)

●応援旗の掲示について

大会運営、観覧に支障の無いように掲示してください。
応援旗の掲示開始は、22日(土)大会1日目の開場以降にお願いします。

●その他

- ①21日(金)は、会場準備のため、観覧席及び競技フロアへ立ち入らないでください。
※代表者会議の会場(選手控室)へは、1階トイレ横の内階段を使用してください。
- ②荷物の置き放しによる場所取り、席取りをしないように指導してください。

大会実施にかかる留意事項について

- (1) 体育館への出入り口は同じですが、入場口を監督・選手と一般来場者(応援部員)に分けています。

※ 開場時間までは、入場口毎に並んでお待ちください。

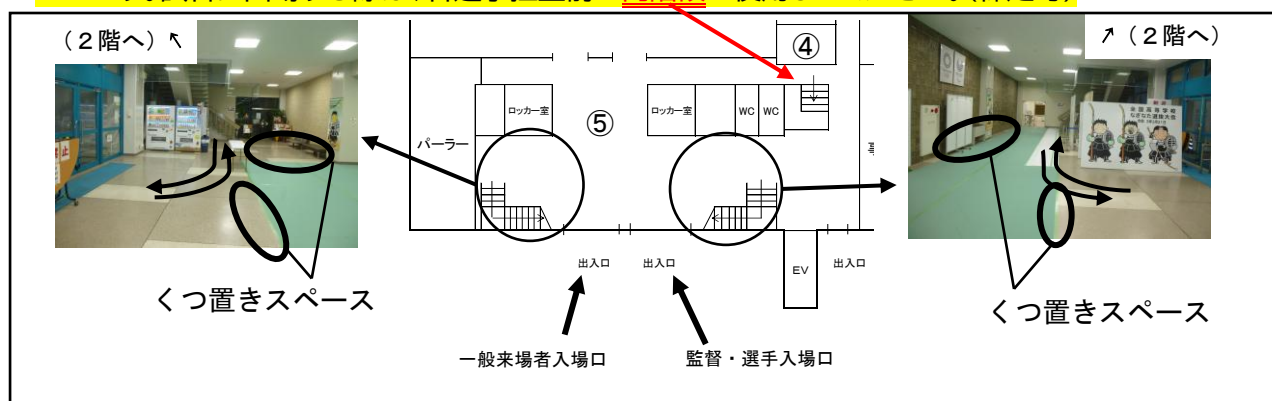
体育館を正面に見て右側:監督・選手入場口

左側:一般来場者(応援部員)

- (2) 体育館内は基本的に土足とします。(ただし、グリーンシート部分は土足厳禁です。)

※ 3階選手控室 A(卓球場)・B(柔道場)へは靴を脱いでお入りください。

※ 3階選手控室 A(卓球場)・B(柔道場)前の階段から選手招集場所までの通路に、一部グリーンシートを敷いています。試合に出場する際は、各選手控室前の内階段を使用してください。(裸足可)



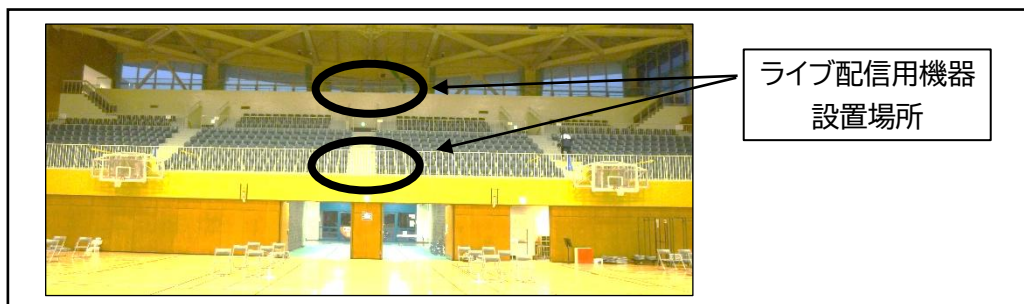
- (3) 観覧席の2階から3階へ移動する階段は、朝9時以降、終日一方通行とします。

※競技フロアを背にして、右手側の階段を【上り専用】とし、左手側を【下り専用】とします。

※一般来場者(応援部員)の3階スペースへの立ち入りを禁止とします。



- (4) ライブ配信を行いますので、機材周辺での会話は特に注意してください。



- (5) 欠場者は1階及び2階に掲示しているトーナメント表で確認してください。

式典時の注意

【開会式】

- ①監督は、開会式に参加しない。(観覧席で待機)
- ②選手の服装は、**稽古着・袴** に **胴・垂れ** を着用する。
- ③選手は8時30分にプラカードを持って選手控室の各都道府県別または、ブロック代表の机周辺に待機する。選手控室出入口より、選手委員が競技フロア内の整列順に呼び出しを行う。学校ごとに団体試合出場校、個人試合出場校女子・男子の順とする。
- ④競技フロア内に整列の際は、プラカードを先頭に各校ごとに1列に並ぶ。
- ⑤入場時は、選手がプラカードを持って入場する。
※プラカード保持者は、各校の出場選手であれば、男女・種目等問わない。
- ⑥入場行進は、係員の誘導に従って行う。(前進入場のみ)
- ⑦開会式整列場所に到着次第、プラカードを降ろす。プラカードの上部に両手を添える。
(出場選手の多い学校は、到着時になるべく選手間をつめ、整列する。※後列が入らないため)
- ⑧退場は、アナウンスと係員の指示に従い、大会名プラカードを先頭に左右2列各6校ずつ退場する。
(退場の際は、止まらずに退場口から各選手控室(3F)へ移動する。)
- ⑨各コート第1試合・第2試合の出場チームは、直接選手待機所に集合する。

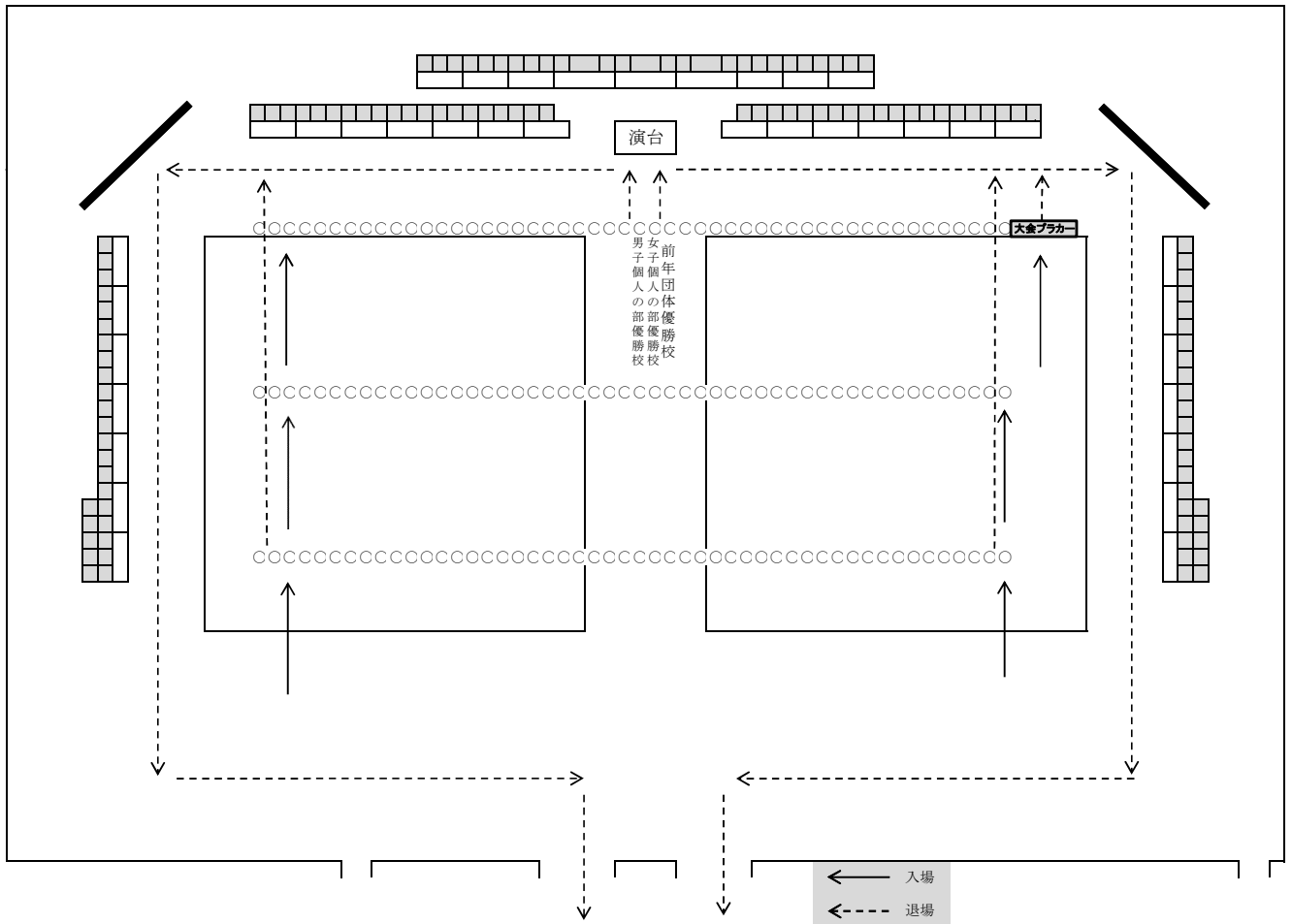
【閉会式】

- ①監督は、閉会式に参加しない。(観覧席で待機)
- ②選手の服装は、以下のいずれかとする。
・稽古着、袴 ・ 制服 ・各都府県又は各校のユニフォーム
- ③集合、整列は競技フロア後方で行う。その際、各校1列で並ぶ。
- ④入場行進は、係員の誘導に従って行う。(前進入場のみ)
- ⑤表彰はアナウンスと係員の指示に従い、表彰台の前に横1列で整列する。
- ⑥表彰は、団体試合・女子個人試合・男子個人試合の順に行う。
- ⑦退場は、アナウンスと係員の指示に従い、本部前を通り退場する。(別図の通りとする。)

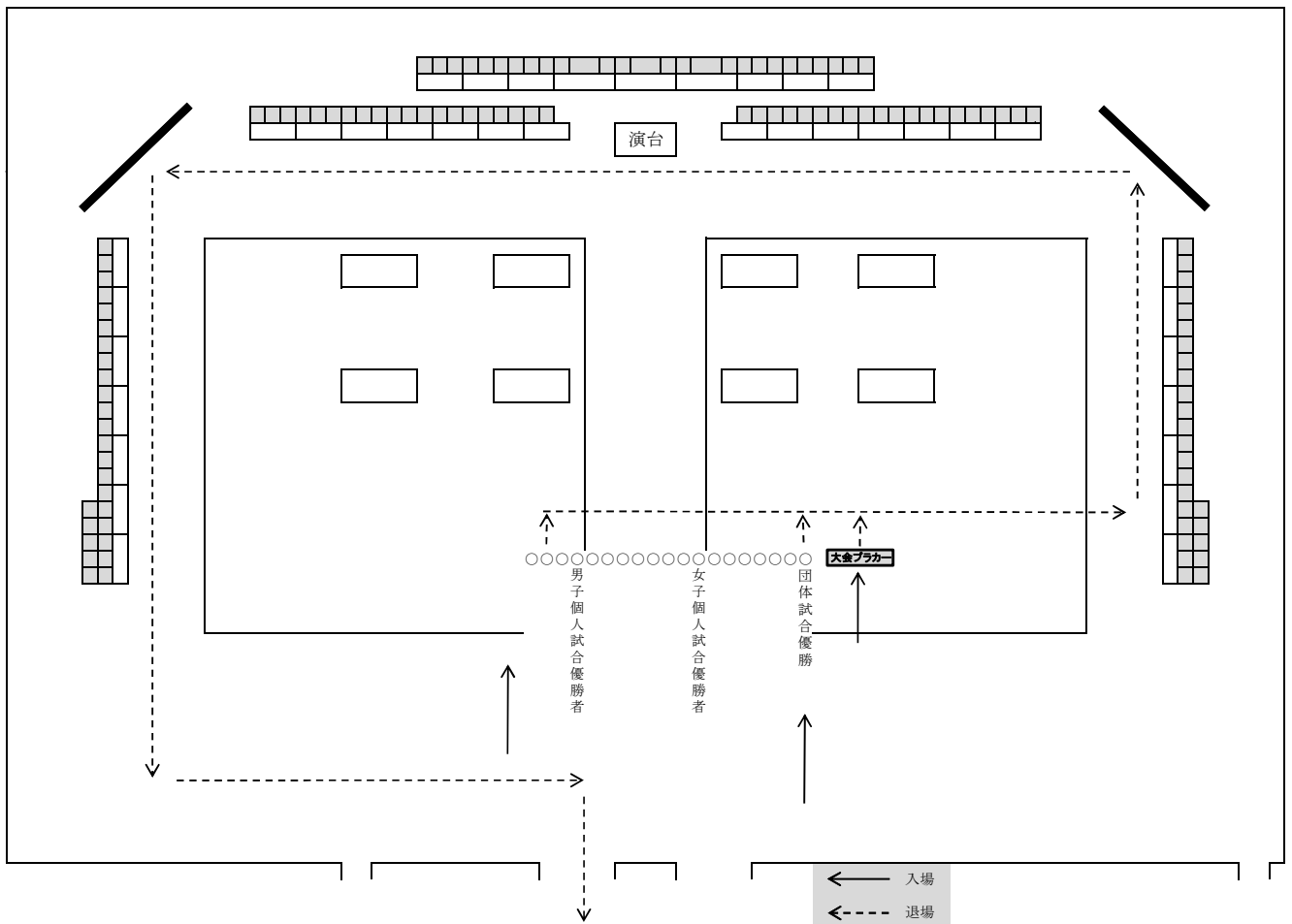
※式典進行をスムーズに行うため、監督は必ず選手への伝達をお願い致します。

開・閉会式入退場図

開会式



閉会式



練習(アップ)会場について

【練習(アップ)会場割当表】

	A:緑ヶ丘体育館	B:スワンホール	C:鴻池小学校	D:伊丹特別支援学校
3月21日 (金) A・B 12:30 ～ 15:00 C・D 13:30 ～ 15:00	【北信越ブロック】 新潟東2 柏崎常盤5 上越(1) 南砺福野5 羽咋2 津幡4 鯖江4 羽水5(2) 松本深志(1) 大町岳陽4(1) 上田西1 【中国ブロック】 鳥取西5(2) 出雲北陵3(2) 美作2 興陽3 岡山後楽館5(2) 修大協創(1) 比治山女子5 長府5(1) 徳山(1) 【四国ブロック】 鳴門2 琴平5(2) 香川中央5 大手前丸亀1 新田1 北条4	【東海ブロック】 大垣北2 大垣商業5(1) 岐阜東(1) 浜松市立5 星陵1 浜松西(1) 県立佐屋(1) 東海学園5(1) 高田5 稲生5 皇學館(2) 【九州ブロック】 筑紫女学園1 福岡常葉(1) 須恵1(1) 中村女子5 佐賀東2 牛津5 松浦5(2) 熊本西2 八代農業(1) 熊本第一5 秀岳館(1) 大分西5(1) 福徳学院(1) ウルスラ1(1) 宮崎南5(1) 川辺5 知念3(2) 首里5	【関東ブロック】 水戸第三6(1) 水戸第二2 水戸農業(2) 國學院栃木5(1) 大宮開成1(1) 埼玉栄5(1) 秀明八千代(1) 植草大附属5 流山南(1) 都立片倉(1) 都立城東6 都立富士5(1) 中大横浜(1) 神大附属5(1) 甲府昭和5(2) 青洲2 【近畿ブロック】 彦根翔西館5(1) 南陽5 京都木津1(1) 清教学園5 園田学園1 近畿大豊岡5 小林聖心5 奈良大附属1(1) 紀北工業(1) 和歌山北5 近大附新宮4(1)	【東北ブロック】 国際情報6(2) 青森明の星(1) 弘前中央6(1) 盛岡誠桜(1) 盛岡中央1 盛岡第二5 盛岡第一(1) 岩手盛岡北2 仙台育英3 仙台商業(1) 古川黎明(1) 大曲6(2) 山形北5 山形西2 天童5 ザベリオ2 会津学鳳5(1)
3月22日 (土) 9:45 ～ 15:00			9:45～12:30 【団体試合出場校】 鳥取西・稲生・大町岳陽 彦根翔西館・岡山後楽館 鳴門・都立富士・知念 松浦・水戸第三・長府 川辺・熊本第一・埼玉栄 鯖江・南陽・中村女子 浜松市立・天童・国際情報 会津学鳳・南砺福野・前橋西 牛津・近畿大豊岡・宿毛 北条・植草大附 12:30～14:00 【男子個人試合出場選手】 トーナメント番号が 奇数の選手 13:30～15:00 【女子個人試合出場選手】 トーナメント番号が 奇数の選手	9:45～12:30 【団体試合出場校】 國學院栃木・首里・和歌山北 宮崎南・興陽・大垣商業 出雲北陵・甲府昭和・高田 都立城東・仙台育英・琴平 神大附属・清教学園 津幡・近大附新宮・弘前中央 一条・香川中央・小林聖心 山形北・羽水・大曲 比治山女子・盛岡第二 大分西・東海学園・柏崎常盤 12:30～14:00 【男子個人試合出場選手】 トーナメント番号が 偶数の選手 13:30～15:00 【女子個人試合出場選手】 トーナメント番号が 偶数の選手
3月23日 (日) 8:30～ 11:30			8:30～10:00 【女子個人試合出場選手】 アップ会場 9:00～11:30 【団体試合出場校】 アップ会場	8:30～11:00 【男子個人試合出場選手】 アップ会場 10:30～11:30 【団体試合出場校】 アップ会場

※男子は()書きで外数

※練習相手申込校は、その数も含む。

【バス】

○伊丹市バス

【タクシー】

○阪急タクシー

○フクユタクシー

○エースタクシー

○商都交通(株)

お問い合わせ先

072-781-3751

072-772-5301

072-777-2000

072-784-2333

06-6421-0889

0570-065-089

0120-66-4488

医療救護について

1. 競技会場における医療救護について

- ・大会期間中は、会場に救護所を設置し(1F 剣道場向い)医師・看護師及び係員を配置し応急処置をする。又、症状により医療機関に搬送する。
- ・救急の場合は、医師・看護師等が応急処置を行い、状況により医療機関の紹介・救急車での搬送手配を行う。
- ・救急車の出動依頼については、救護所の医師・看護師の指示に従う。

(救急車での搬送が必要な場合)

- ・引率責任者等は、必ず患者に同行する。引率責任者が同行出来ない場合は、同県、同チームで対応する。患者が観客で同行者がいない場合は、実施本部員が同行する。
- ・病院まで同行した引率者は、受診後に処置結果等の状況をすみやかに大会実施本部まで連絡をする。

(緊急性はないが病院受診が必要な場合)

- ・医療機関の紹介を行う。病院までの移動手段はそれぞれ引率者等が行う。

2. 練習会場における医療救護について

- ・各会場に、練習会場係を配備しており、緊急時には練習会場係が対応する。
- ・医療機関の紹介及び救急車による配送手配を行った場合は、直ちに大会実施本部へ連絡・報告をする。大会実施本部と引率責任者は、お互いに十分に連絡を取り合う。

3. 宿舎における医療救護について

- ・宿舎で具合が悪くなった時は、ホテルフロント又は、宿泊担当者(旅行社)に申し出る。医療機関に移送される場合は、必ずチーム関係者が同行すること。
- ・夜間に医療機関への搬送が発生した場合には、翌朝に大会実施本部まで連絡すること。

4. 治療の受け方

- ・救護所では、応急処置及び軽易な治療を行う。医療機関へ移送する場合は、救急車で搬送する。
- ・医療機関で治療を受ける時は、健康保険証(コピー不可)を提示するとともに、救護所等で交付された「受診依頼書」を提出する。

5. 医療費の負担について

- ・救護所・練習会場における応急処置等に要した経費を除き、医療費はすべて受診者の負担とする。
- ・医療機関に保険証を提示しないで受診した場合は、医療費の全額が、受診者の負担となる。必ず健康保険証を持参のこと。

6. 医療機関について

- ・医療機関については、大会実施本部へ問い合わせ下さい。

競技会場(屋外)配置図

(伊丹市立伊丹スポーツセンター)

宿舎等とのバスの発着予定地

練習会場
鴻池小学校

第2
駐車場

陸上競技場

テニス
コート

練習会場
伊丹特別支援学校

※第1・第2駐車場は大会専用駐車場ではありません。ご利用の際は、各自で駐車場料金をご負担ください。

<練習会場>

スワンホール 体育館・多目的ホール

バス 約15分

緑ヶ丘体育館

バス 約15分

鴻池小学校 体育館

徒歩 約5分

伊丹特別支援学校 体育館

徒歩 約5分

クラブハウス

野球場

プール

競技会場
体育館

第1
駐車場

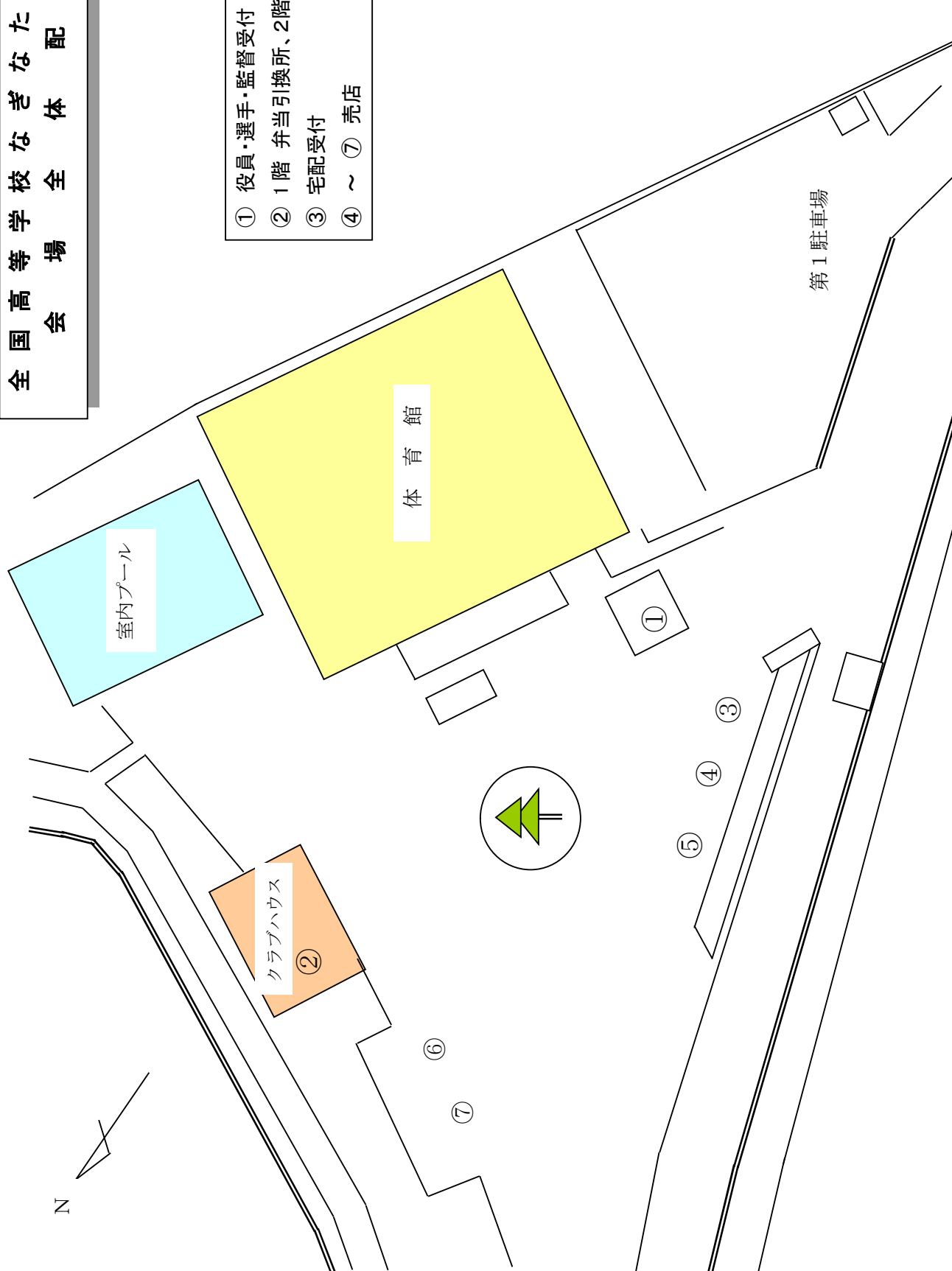
伊丹市バス停
スポーツセンター前

至鴻池交差点

至大鹿交差点

天神川

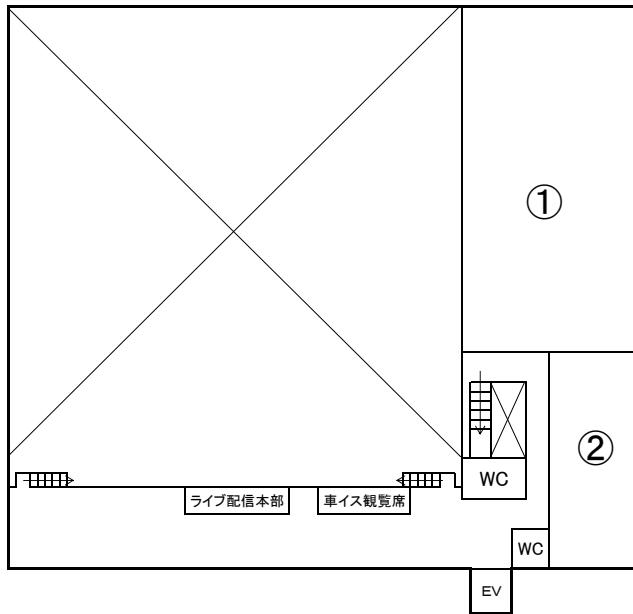
全国高等学校なぎなた選抜大会 会場全体配置図



- ① 役員・選手・監督受付
- ② 1階 弁当引換所、2階 競技委員控室
- ③ 宅配受付
- ④ ~ ⑦ 売店

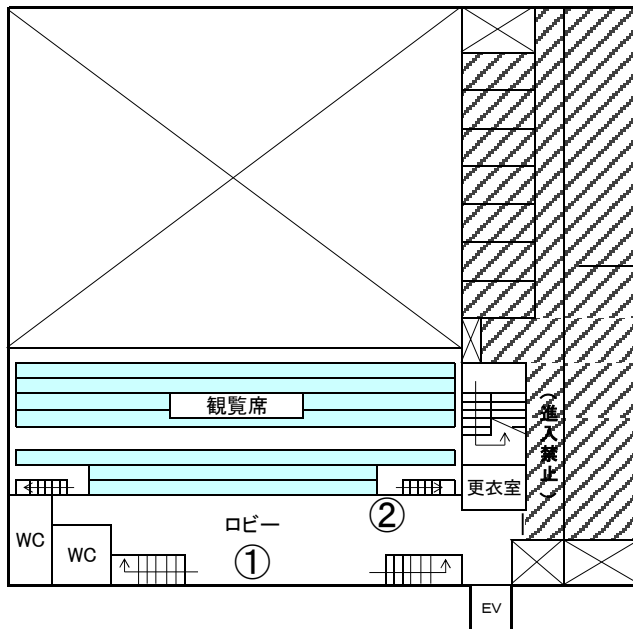
競技会場(屋内)配置図

3階



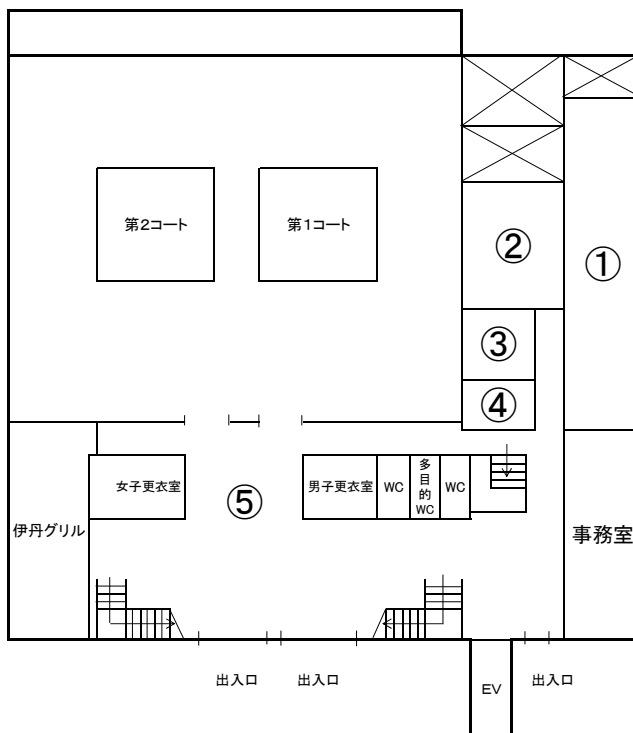
- ① 代表者会議場
選手監督控室A(卓球場)
- ② 選手監督控室B(柔道場)

2階



- ① 専門店売店
- ② プログラム販売所

1階



- ① 来賓控室、審判員室
大会役員室
競技委員控室 } 剣道場
- ② 実施本部・本部記録(多目的室)
- ③ 応接室(会議室)
- ④ 救護室(医務室)
- ⑤ 選手招集場所(ロビー)

選手控室A (卓球場) 席次表

群馬県	北信越B (福井県)	兵庫県2	香川県
栃木県	福井県	兵庫県1	徳島県
茨城県	石川県	大阪府	山口県
福島県	富山県	京都府	広島県
東北B (山形県)	新潟県	滋賀県	中国B (岡山県)
山形県	山梨県	東海B (三重県)	岡山県
秋田県	神奈川県	三重県	島根県
宮城県	関東B (東京都)	愛知県	鳥取県
岩手県	東京都	静岡県	近畿B (和歌山県)
青森県	千葉県	岐阜県	和歌山県
北海道	埼玉県	長野県	奈良県

入り口

選手控室B (柔道場) 席次表

入り口

四国B (香川県)	熊本県
愛媛県	大分県
高知県	宮崎県
福岡県	鹿児島県
佐賀県	沖縄県
長崎県	九州B (沖縄県)

代表者会議次第

日時：令和7年3月21日（金）

13時30分～14時30分

会場：伊丹市立伊丹スポーツセンター・卓球場

1. 開 会

出席確認

2. 挨 拶

（1）大会委員長

（2）大会参与

（3）大会実施本部長

3. 第20回全国高等学校なぎなた選抜大会について（実行委員会より）

（1）競技について

（2）審判長より

（3）式典について

（4）大会諸連絡

・輸送について

・宿泊について

・医療救護について

・選手欠場等・その他

4. 閉 会

代表者会議 席次表

群馬県	北信越B (福井県)	兵庫2	香川県	九州B (沖縄県)
栃木県	福井県	兵庫1	徳島県	沖縄県
茨城県	石川県	大阪府	山口県	鹿児島県
福島県	富山県	京都府	広島県	宮崎県
東北B (山形県)	新潟県	滋賀県	中国B (岡山県)	大分県
山形県	山梨県	東海B (三重県)	岡山県	熊本県
秋田県	神奈川県	三重県	島根県	長崎県
宮城県	関東B (東京都)	愛知県	鳥取県	佐賀県
岩手県	東京都	静岡県	近畿B (和歌山県)	福岡県
青森県	千葉県	岐阜県	和歌山県	高知県
北海道	埼玉県	長野県	奈良県	愛媛県
				四国B (香川県)

入り口

大会本部連絡先

※3月21日より開通いたします。

